

西始良校区コミュニティ協議会だより

おむニュータウン

向こう三軒両隣、気配り助け合い



くすみん

第31号 令和8年1月15日

発行 西始良校区コミュニティ協議会
始良市西始良一丁目22-3 TEL 0995-73-8415
発行人 会長 前田昇一

令和8年「うま」年!! 全力疾走だア〜



ラジオ体操全体会ー思うように動きます？



龍桜高校吹奏楽ーさわやか・迫力サウンド!!



夏祭り子ども神輿ー元気いっぱいワッショイ!!



ペタンク大会ーどっちが近い？

年頭のご挨拶



会長 前田昇一

西始良校区の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

家族団らん、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。二〇二六年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

西始良コミュニティセンター建設にあたり、昨年五月に始良市議会に建設の請願書を提出し、十二月市議会定例会で「趣旨採択」となり、一歩前進の思いです。今後は、コミュニティセンター建設に対し、どこにも負けない西始良校区の皆さまの強い思いや、実現に向けた活動が大切だと感じています。

そのためには、笑顔で暮らせる安心安全な地域づくりや、青少年の健全な育成活動や高齢者の見守り活動など、だれもが認める始良市ナンバーワンの街になる努力が必要ですね。より一層の地域づくりの活性化を図るため、役員一同一丸となって活動を進めて参ります。

今後とも、西始良校区コミュニティ活動へのご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

本年が、皆様にとって健康で幸多い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

二〇二五年の活動を振り返って

福祉部長 松永 翼

あけましておめでとうございます。昨年度も、西始良校区のスタミナ溢れる大人から子ども達まで、たくさんの方々と関わらせていただきました。

本年も、より良い地域交流活動になるよう取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

二〇二五年の福祉部の活動も、福祉部員の皆様のおかげで、福祉部すべての行事を問題なく遂行することができました。ありがとうございました。

では、福祉部の活動をご紹介します。

研修会

まずは、九月十八日に開催しました研修会。講師は、宮之城病院・クリニック1にしあいら・田園パークホスピタルの医療法人博仁会 理事長 新門 弘人ドクターに、「認知症について」のお話をお願いしました。また、今回、研修会の会場として提供してくださいました、田園パークホスピタル内の院内見学もありました。



高齢社会となった昨今では、老々介護が問題視されてきております。家族だけでは介護をしていけない、プロの力を借りて介護を増やしてきてきました。

そんな中、既に五人に一人がなると言われている「認知症」。自分の家族、ご近所さんが認知症を発症したときに、症状や対応を知っているのと知らないのとでは、大きな差が生じます。



当日の参加者二十八名は、とても真剣に新門ドクターの講話を傾聴していただきました。新門ドクターも、日常生活の中からの異変をとっても分かりやすくお話してくださいました。次回も、皆様からご要望が多くあった内容で研修会を開催したいと思っております。



サロン合同研修旅行

十月三日、串木野市にあります日高水産加工有限会社につけあげ製造工場に総勢六十名のサロン会員の皆さんと見学・研修に行きました。

イケメン社長 日高 顧活さんの、とても楽しくて分かりやすいガイドで工場案内をしてくださいました。



加工時に実際に使用している大きな調理器具を見ながら、つけあげの材料となる魚の産地や身のこだわり、その身に合ったすりつぶし工程などをお伺いしました。イケメン社長のつけあげにたいする、ひとつひとつの愛情を感じました。

家庭でも作れるつけあげですが、戦後変わらぬ味を守り続けている日高水産のつけあげは、ほっとできる美味しさがありました。そのつけあげを、参加者全員



に試食のプレゼントをしてくださいました。すごく美味しかったですね。

帰りは、バスまでお見送りの挨拶にしてくださいました。参加者の皆さんも、土産を大量に購入されて満足そうでした。





今回も、始良市からのバス補助金を受け予算内で決行することができました。



お昼ご飯は、同じ串木野市にあります濱田酒造伝兵衛にいきました。素材の味が活かされたお料理が美味しかったですね。

補助金のおかげで、昼食代の補助もすることができました。次回の行先も、皆さんの要望を伺いしながら、より楽しいサロン合同研修旅行にしたいと思います。

高齢者スポーツ交流会

十二月十四日に、中央グラウンドでグラウンドゴルフ大会を開催しました。前夜から当日の朝まで雨が降り、開催が危うい状況でしたが、無事に予定通り開催することができました。



総勢五十三名の参加者のみなさん、とっても元気よく走り回っておりました。私も見習いたいものです。これからも、たくさん動いて、楽しく笑って、元気に過ごしてください。



たくさんのご参加をありがとうございました。「福祉」の在り方を西始良から！二〇二六年も、みなさんと福祉を創っていきましょう。

賑わった文化祭!!

地域づくり部長 清水 裕二
他地区の秋祭りと同様にならないように、期日を配慮した文化祭となりました。十一月の最後の日曜日で、寒さが気かりでしたが、参加者の熱気で心配無用でした。



4年：濱田侑李さん
「青少年意見発表」は、八人の小中学生の生き生きとした意見発表が、とても



龍桜高校吹奏楽部演奏



寸劇 訪問買い取り南：ひばり会

も素晴らしいものでした。全国高等学校総合文化祭・特別賞に輝いた、「龍桜高校吹奏楽部」のオープニングファンファーレとカラーガードショーは、その迫力ある演奏とはでやかさに、参加者は魅了されました。その後の七団体のプログラムも多種多様で面白く、特に今年は高齢者の「詐欺予防」と「介護保険利用」に関する寸劇が、会場を大変盛り上げました。参加いただいた皆さまに感謝申し上げます。

皆さまに寄り添って



民生委員・児童委員 今村 美恵子

溝辺空港にも三十分、鹿兒島市内にも三十分と便利の良い場所、ここ始良ニュータウンに家を建てて三十二年になりました。中学校への自転車通学には閉口した子どもたちでしたが、今となっては「住みごころランキング」五年連続鹿兒島県一位の始良市で、充実した老後をご予定です。

高齢化が進み、始良ニュータウンも子どもたちが減っていますが、朝の元気な通学の様子を見かけると、とても癒されます。今まで、西自治会サロン「わかば会」のボランティア活動を通して、地域の皆さまとも交流を持ち、楽しい時間を過ごし、多くの事を学びながらの毎日でした。昨年十二月から西始良西自治会担当の、民生委員・児童委員をお引き受けすることとなりました。微力ではありますが、これまでの経験を活かしつつ、地域の方々との交流と共に、支援を必要とされている方々と行政との「中継ぎ役」として頑張る所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

西始良校区コミュニティセンター」建設に関する請願 始良市議会・令和7年12月定例会で「趣旨採択」へ

令和7年12月23日、始良市議会は最終本会議において、総務常任委員会委員長報告を受け、私たちが悲願としていました『「西始良校区コミュニティセンター」建設に関する陳情書』を、賛成19反対1で「趣旨採択」としました。

*「趣旨採択」とは 提出された請願や陳情の内容について、その趣旨や目的に対しては賛成するものの、財政的な事情や実現性の問題から、現状では要望通りに実現することは難しい、という議会の意思を示したもの。

この「趣旨採択」は決して落胆することは無く、これからの私たち西始良校区住民の強い意志と運動の方向性では実現可能ということでもあります。

*その理由 ・趣旨と目的は市民の代表である議員が賛成していること。

- ・財源的には何十億もかかるものではなく、数千円の枠内であろうこと。
- ・西始良校区内には公共施設は西始良小学校のみであり、「始良市公共施設等総合管理計画（公共施設再配置基本計画）」の対象に成り得る建築物は存在しないこと。
- ・近年始良市が、子育て・福祉・教育等に校区住民の「共助」を強く要請してきている現状からして、校区に住民の自由に集える公共施設が小学校以外一つも無いことの方が問題であること等。

この間の、総務常任委員会での真摯な調査・聞き取り・審議の経過と地元市議・萩原哲郎議員のご尽力に、心から御礼と敬意を表したいと思います。

主な議員意見（総務常任委員長報告より抜粋）

- ・コミュニティセンターの新設・建設そのものは「始良市公共施設等総合管理基本計画（公共施設再配置基本計画）」や財政状況を踏まえると現実的に困難である。一方で、市が住民の声やアンケートに十分に対応してこなかったことが、請願提出の背景にあることは重く受け止める必要がある。

- ・請願のタイトルが「コミュニティセンター建設」である以上、建設可否だけを見れば不採択が妥当ではないか。一方で、請願に込められた要望を意見として受け止めたい。
- ・地域コミュニティの拠点は重要であり、その必要性は今後さらに高まると思われる。一方、市全体の公平性を踏まえ、校区コミュニティ協議会全体で論議を深め、市の事業として検討すべき課題である。
- ・高齢化の進行や共助の重要性を考えると、地域コミュニティの拠点を求める請願者の想いそのものは妥当である。
- ・それぞれの自治会長の意見が一致しており、地域の総意としての重みがある。
- ・新設に限らず、既存の自治会集会所の増改築、宝くじ助成事業や企業版ふるさと納税等の活用も検討したらどうか、等。

コミュニティ協議会事務局より

- ・来年以降は市長部局（特に都市計画課・地域政策課等）への要請・接触を強化する必要がある。
- ・「コミュニティ・スクール」の全体像から、西始良小学校内でのコミュニティ協議会の事務局・活動の場の在り方も、多方面から模索・検討する必要もあろうかと。



事務局長 濱田 健一

編集後記

昨年の新年号で書いた「五十肩」の痛み。本当に約一年で解消しました。不思議な病気もあるものだと感じました。全てがこうであつたら？と変な願望を抱いてしまいました。若くてバイタリテイ溢れる福祉部長の活躍で、医療施設の見学研修、楽しく有意義なサロン合同研修旅行が実現しました。若いコミュニティ会員のコミュニティ活動への発案・企画・実施への参画を、進めていきたいと実感しました。文化祭への龍桜高校吹奏楽部の出演も、華やかで心躍る演技で盛り上げていただきました。今年「午年」です。さあ、私たち「西始良コミュニティ」号は令和八年という「パドック」をどう駆け抜けていくのでしょうか。一人一人の会員の采配が勝負の要でしょうね。

